

# 信頼回復に向けて

## 甲賀市選挙事務不適正処理再発防止委員会の答申について

2月3日に第7回甲賀市選挙事務不適正処理再発防止委員会（以下「再発防止委員会」といいます。）が開催され、甲賀市選挙管理委員会への答申について審議が行われました。審議の結果、答申書がまとまり、同日に、再発防止委員会委員長から選挙管理委員会委員長に答申書が手渡されました。

再発防止委員会の小島委員長は「答申内容に基づき、市長部局との緊密な連携のもとで、今後の選挙における適正な管理執行について、継続的に取り組んでいただきた」と述べられ、選挙管理委員会の平尾委員長は「いただいた答申をもとに、具体的にどのような取り組みが出来るかを選挙管理委員会と審議し、継続的に再発防止に取り組む事で、選挙の厳正な管理執行については選挙の信頼確保に全力を尽くしていきます」と答へ受領しました。



投票用紙を使う以外に手立てがない等の思いから、未使用の投票用紙を無効票の白票として加えた。

● 投票日（翌日）の翌日、プラーのレスン室に置かれていた開函済みの投票箱を撤収していた職員が投票用紙が入ったままの投票箱を発見した。

● 総括指揮事務主任、同副主任及び第2庶務係事務主任の3人は発見された未集計票の扱いについて協議し、最終的に第2庶務係事務主任の自宅で処分することとなった。

● 市長への通報により、本件選挙にかかる不適切集計および処分行為が発覚し、平成30年2月3日に選挙管理委員会委員長が事実を確認した。

### 答申の主な内容

#### ▽不適正処理の概要について

甲賀市および甲賀市選挙管理委員会から調査を委託された3人の弁護士が、職員等に対する聞き取りを行った報告書をもとに、再発防止委員会が認定した本件の主な概要

● 4選挙等を同日選挙として執行するのは合併後初めての事であったが、その執行にあたる職員が増やされることはなく、開票所も4選挙等の同日執行を行うには従来使用していた甲南情報交流センター忍びの里プララ（以下「プララ」といいます。）は、狭いと認識していたが、他に適当な箇所がなく、そのまま利用することとなった。

● 合計400の投票箱を開票所とされたプララのホール内に保管することが出来ず、ホール外の通路や楽屋に置いていた。

● 開票作業中、総括指揮事務副

主任が小選挙区の投票者数と開票数が数百票合わないことに気づき、捜索するが見つからなかった。

● 総括指揮事務主任および同事務副主任は、県選挙管理委員会や報道機関からのプレッシャーを強く感じており、早く開票を終わらせなければならぬという思いや、台風対応がある中で、今からもう一度やり直すことは出来ないとの思い、探しても見つからないのであれば未使用の

#### 「選挙における体制について」

● 選挙期間中に一部の職員に責任や事務が偏らないよう仕事の割り振りを行うとともに、連日深夜にわたって事務を行うことがないよう、選挙期間前から十分余裕を持って準備作業を行うよう努められたい。

#### 「開票所で扱う書類や用具について」

● 白票や投票箱の管理についてはマニュアルに基づき、取り扱い方法を厳格に定めること

#### 「不測の事態に対する備えについて」

● 開票所で投票者数と開票数に齟齬が生じるケースや選挙時に台風等による風水害等が発生するなど不測の事態に対するマニュアルに基づき、対応方法を厳格に定めること

#### 「その他」

甲賀市は、合併当時の投票区をそのまま引き継いでおり、有権者数が同規模の市と比べて投票区数が多い。今後は選挙事務の効率化・合理化と有権者の投票環境の向上を念頭に、投票区の編成について検討する必要がある。

### 再発防止委員会からのコメント

#### 小島委員長

今回答申をさせていただいたが、これが甲賀市の適正化の出发点であると思う。今後この適正化をいかに継続していくかが大切である。これからの甲賀市の動きが全国の手本となるように発信していただいたい。

#### 山本委員長職務代理者

私は弁護士として職員に対する聞き取りもさせていただいた。聞き取りをした職員からは甲賀市で絶対に同じ過ちをくり返さないという強い思いを感じた。今後はそれを風化させないこと、また、甲賀市での今回の取り組みを全国で生かしていただきたい。

#### 連委員

去年の6月の知事選挙では本委員会の中間報告を元に作成したマニュアルを活用し適正に執行いただいた。今後についても今回の答申を踏まえて取り組みを、さらに具体的なものとし、決してそれを風化させないようにしてもらいたい。

#### 岩瀬委員

選挙事務を迅速に処理することとは大切なことだが、従事者にあわてさせる事がないように責任者はしっかりと管理をしてもらいたい。また、作成したマニュアルに100%はない。選挙が終わるごとに従事者にアンケートをとるなどし、しっかりと反省会を行い、今後よりよいものにしてもらいたい。

#### 森地委員

一般の市民から参加させてもらい本委員会でも色々と勉強させてもらった。今後については、一人ひとりの一票の重みを選挙管理委員会は胸にしっかりと受け止め、選挙事務の執行に取り組んでいってもらいたい。

### 主な取り組み

● 一部の職員に事務や責任が集中しないように、開票準備を行うワークチームを設ける。

● 白票および投票箱の管理を徹底すると共に、選挙の種類や規模に応じた開票所の選定を余裕を持って行う。

● 開票所で投票数と開票数とに齟齬が生じた際や選挙時の風水害の襲来など、不測の事態に備えたマニュアルを作成する。

● なお、答申の詳細等については市ホームページをご覧ください。



※4選挙等とは、衆議院小選挙区選挙、比例代表選挙、最高裁判所裁判官国民審査、市議会議員選挙

#### お問い合わせ

選挙管理委員会事務局  
069-222600 63-4086